

TAC 電験三種講座

入江先生からのメッセージ

23.12.25



年末年始の過ごし方

年末年始は長いようであっという間に終わります。

絶対に合格する！という気持ちは大切ですが、あれもこれもやろうとしても現実問題その計画を全て実行するのは難しいものです。

また、設定した課題が出来なかったとなると気落ちし、焦りが生じ、今後の学習に不安が残るという悪循環になりかねません。

したがって、年末年始のような短い休暇には、やることを絞って確実に今後のためになることのみをすべきです。

また、来年上期受験予定の方はまだまだ時間に余裕があると思いますが、下期受験される方は残りおよそ3ヶ月となります。

なので、年末年始の予定はしっかりと計画立て、本試験への準備を万全にする期間としてご活用いただければと思います。

具体的に年末年始に何をするかですが、受験時期を問わず、基礎固めをオススメします。

くどいように思われるかもしれませんが、電験三種レベルの試験では、とにかく基礎を明確に理解し、使いこなせるかが重要です。

下期受験予定の方は、今後本試験へ向けて、過去問題集やTACの模試などを通してアウトプットをメインで実施していきます。

その際ただ問題を解くだけでなく、問題をふまえてさらに内容の理解や問題の解き方・考え方をより深めていくことになりますが、

そもそもの基礎の理解があやふやだと解答解説を見てもわからず混乱し、とても不安になり、精神的に参ってしまいます。

なので、本試験までの学習をスムーズに進めるためにも、これを最後の機会として、例えばまとめを作る、テキストを改めて読むなどの基礎固めをしっかりと完了しておきましょう。

TAC 電験三種講座

入江先生からのメッセージ

23.12.25



年末年始の過ごし方

上期受験予定の方も、ここまでの知識の整理をしておくことで、半年後改めて学習をする際思い出しやすくなりますのでとても有効です。

電験三種は、インプット・アウトプットを正しくしっかりこなせば合格できる資格であり、理不尽な試験ではありません。

焦らずに「完璧を追い求めない」ということを念頭に置いて学習を進めてください。